

開発品の主な進捗状況

開発品の主な進捗状況

(2020年5月12日現在)

がん領域の主な進捗状況

製品名(開発コード)/一般名	剤型	予定効能	開発ステージ				地域
			PI	PII	PIII	申請	
オブジーボ点滴静注	注射	食道胃接合部がん及び食道がん	■	■	■	■	日本・韓国・台湾
		小細胞肺がん	■	■	■	■	日本・韓国・台湾
		肝細胞がん	■	■	■	■	日本・韓国
		膠芽腫	■	■	■	■	日本
		尿路上皮がん	■	■	■	■	日本
		卵巣がん	■	■	■	■	日本・韓国・台湾
		膀胱がん	■	■	■	■	日本・韓国・台湾
		食道がん	■	■	■	■	台湾
		固形がん(子宮頸がん、子宮体がん及び軟部肉腫)	■	■	■	■	日本
		中枢神経系原発リンパ腫/精巣原発リンパ腫	■	■	■	■	日本
		膵がん	■	■	■	■	日本・韓国・台湾
		胆道がん	■	■	■	■	日本
		ウィルス陽性・陰性固形がん	■	■	■	■	日本・韓国・台湾
ONO-4059/チラブルチニブ	錠	原発性マクログロブリン血症/リンパ形質細胞リンパ腫	■	■	■	■	日本
ヤーボイ点滴静注*	注射	結腸・直腸がん(MSI-H)	■	■	■	■	日本
		非小細胞肺がん	■	■	■	■	日本
		小細胞肺がん	■	■	■	■	韓国・台湾
		頭頸部がん	■	■	■	■	日本・韓国・台湾
		胃がん	■	■	■	■	日本・韓国・台湾
		悪性胸膜中皮腫	■	■	■	■	日本
		食道がん	■	■	■	■	日本・韓国・台湾
		尿路上皮がん	■	■	■	■	日本・韓国・台湾
		肝細胞がん	■	■	■	■	日本・韓国・台湾
		ウィルス陽性・陰性固形がん	■	■	■	■	日本・韓国・台湾

製品名(開発コード)/一般名	剤型	予定効能	開発ステージ				地域
			PI	PII	PIII	申請	
ONO-7643/アナモレリン	錠	がん悪液質	■	■	■	■	日本
ピラフトピカプセル	カプセル	結腸・直腸がん	■	■	■	■	日本
		悪性黒色腫	■	■	■	■	韓国
		悪性黒色腫	■	■	■	■	韓国
メクトピ錠	錠	結腸・直腸がん	■	■	■	■	日本
		悪性黒色腫	■	■	■	■	韓国
		悪性黒色腫	■	■	■	■	韓国
ONO-7701*/Linrodostat	錠	膀胱がん	■	■	■	■	日本・韓国・台湾
ONO-7912/Devimistat	注射	膵がん	■	■	■	■	韓国
		急性骨髄性白血病	■	■	■	■	韓国
ONO-4687*/Cabiralizumab	注射	膵がん	■	■	■	■	日本・韓国・台湾
ONO-4686*	注射	固形がん	■	■	■	■	日本
ONO-4482*/Relatlimab	注射	悪性黒色腫	■	■	■	■	日本
ONO-7807*	注射	固形がん	■	■	■	■	日本
ONO-4578*	錠	固形がん	■	■	■	■	日本
ONO-4483*/Lirilumab	注射	固形がん	■	■	■	■	日本
ONO-7475	錠	固形がん*	■	■	■	■	日本
		急性白血病	■	■	■	■	米国
ONO-7911*	注射	固形がん	■	■	■	■	日本
ONO-7913/Magrolimab	注射	固形がん	■	■	■	■	日本

※抗がん剤において、同じ予定効能(がん腫)の場合は、各地域で最も進んでいる開発ステージを記載しています。

★「オブジーボ」との併用試験

開発品の主な進捗状況

■ がん領域以外の主な進捗状況

製品名(開発コード)/一般名	剤型	予定効能	開発ステージ				地域
			PI	PII	PIII	申請	
ONO-2370/オピカボン	錠	パーキンソン病	■	■	■	■	日本
オノアクト点滴静注用	注射	敗血症に伴う頻脈性不整脈	■	■	■	■	日本
		心機能低下例における頻脈性不整脈(小児)	■	■	■	■	日本
ONO-5704	注射	変形性関節症	■	■	■	■	日本
		腱・靭帯付着部症	■	■	■	■	日本
オレンシア皮下注	注射	多発性筋炎・皮膚筋炎	■	■	■	■	日本
ペレキシブル錠	錠	天疱瘡	■	■	■	■	日本
ONO-7269	注射	脳梗塞	■	■	■	■	日本
ONO-4685	注射	自己免疫疾患	■	■	■	■	日本
ONO-2808	錠	神経変性疾患	■	■	■	■	欧州
ONO-7684	錠	血栓症	■	■	■	■	欧州

新薬開発の流れ

基礎研究

薬になる可能性がある新規物質(有効成分)の発見と創製。天然素材からの抽出や、化学合成、バイオテクノロジーなどの手法を活用して、新規物質を創製します。

非臨床試験

薬になる可能性がある物質について、動物や培養細胞を用い、有効性と安全性を調べます。また、その薬物動態や品質、安定性なども調べます。

臨床試験(治験)

薬の候補物質(治験薬)について、ヒトに対する有効性と安全性を調べるために行う試験で、通常は3段階に分かれています。健康な人や実際の患者さんを対象に実施されます。

第I相試験(フェーズI:PⅠ)
健康者による安全性の確認

第II相試験(フェーズII:PⅡ)
少数の患者さんによる有効性と安全性の確認

第III相試験(フェーズIII:PⅢ)
多数の患者さんによる有効性と安全性の確認

承認申請と審査

臨床試験で有効性と安全性が確認された後、医薬品医療機器総合機構(PMDA)に承認の申請を行います。その後、学識経験者などで構成する薬事・食品衛生審議会などで審査されます。審査を通過すると、新薬として製造が承認されます。